

出張所の窓辺から

46



洪水時起立中の可動式止水壁

桂川出張所が管理する桂川嵐山地区は、渡月橋や世界文化遺産の天龍寺をはじめとした歴史的建造物が点在し、その景観は四季を通じて良好な自然環境が多様な雰囲気醸成し、文化財保護法上の史跡及び名勝に指定され、国内有数の観光地として全国各地から訪れる観光客に親しまれています。一方で、これまで嵐山地区では洪水が頻発しており、近年においても浸水被害が生じています。これらを踏まえ、河川整備の検討にあたっては、学識経験者等で構成する「桂川嵐山地区河川整備検討委員会(平成24年度設立)」の助言や地元及び文化財担当者の意見を丁寧に聴きながら進めてきました。

平成29年度までに堆積土砂撤去や6

号井堰撤去等の工事を実施しており、現在は「左岸溢水対策」として可動式止水壁の整備を実施しています。可動式止水壁は、委員会からの助言や地元意見等をふまえ、嵐山の景観や眺望等へ配慮し、止水壁を常設するのではなく洪水時に限って起立する構造としました。意匠については、可動式止水壁の川側は史跡及び名勝指定当時の石積みの再現を目指したものとし、歩道側は歩道から望む風景が主役となるよう、周辺の雰囲気との調和を目指したものとしました。施工は観光の閑散期となる冬の間のみで3年に渡って実施し、治水効果を発揮する可動式止水壁の設置は昨年春に完了しており、この春の石積み及び石張り等の意匠工事により全体が完成します。

景観と調和した治水施設が完成した春の嵐山へ出かけてみませんか。



川側の石積み(施工中)



桂川管内に7つある、国土交通省淀川河川事務所の出張所から職員が管内のみどころを紹介します。今回の担当は伏見出張所です。

いきものイチョシ!! 第29回

伏見出張所管内河川レンジャー 鎌田繁樹

鶺鴒

【ウ】

淀川ではよく見かける鳥「鶺鴒」(ウ)ですが、「ウ」は訓読みで音読みでは「テイ」と読みます。日本には4種のウ科が生息しており、宇治川で見られるのは、主にカワウです。

体色は茶褐色から黒色で光沢があ



カワウ



ウツティーと鶺鴒



ウツティーのお家



ウミウのウツティー



うみうのウツティー

写真提供：宇治市観光協会

り、繁殖期には頭部と腰部に白い繁殖羽がみられます。羽毛は浸水しやすい構造になっており、素早く潜水することができ、水中に潜って主に魚などを捕食します。喉は袋状に伸び、魚を丸呑みするとされ、「鶺鴒呑み」の語源ともいわれています。

人とつながりは古くからあったようで、奈良時代の「日本書紀」にも「鶺鴒」の記述があるそうです。鶺鴒は、網を付けた鶺鴒が魚を捕り、鶺鴒匠が手繰り寄せ魚を吐き出させる漁法で、国内では、長良川(岐阜県)など十数か所で鶺鴒が開催されています。淀川水系では、嵐山と宇治川で鶺鴒を見ることができます。

かつては高津川(島根県)で行われていた、国内で唯一の「放ち鶺鴒」にウツティーたちは挑戦しているとのこと。成功した時は是非、皆さんも見物に行きませんか。

※放ち鶺鴒とは、追い網(鶺鴒匠と鶺鴒をつなぐ網)を使用せずに、鶺鴒が自由に泳いで魚を捕り、鶺鴒匠が呼び寄せて届けさせる漁法

鶺鴒に使う鶺鴒はウミウを捕獲して訓練するそうですが、宇治川では2014年に国内で初めてウミウの人工ふ化に成功し、飼育・訓練をしています。宇治で生まれたウチたちは、「ウツティー」の愛称で生まれ、宇治公園の中に「ウツティーのお家」があります。

※放ち鶺鴒とは、追い網(鶺鴒匠と鶺鴒をつなぐ網)を使用せずに、鶺鴒が自由に泳いで魚を捕り、鶺鴒匠が呼び寄せて届けさせる漁法

川の利用と維持管理も考える!

表紙撮影地: 淀川河川公園背割堤地区(八幡市)

220本の桜で堤がピンク色に染まります。3月下旬~4月上旬には、背割堤さくらまつりが開催され、たくさんの方が河川公園を利用されます。

写真提供:(一社)八幡市観光協会

国土交通省のサイト「川の防災情報」では、全国の河川の雨量・水位情報をチェックできます。川遊び中にお天気の変化が気になったときには、ぜひご活用ください。

<https://www.river.go.jp>

河川レンジャーは淀川流域を舞台に行政と流域住民をつなぐ橋渡し役を担っています。詳しくはホームページをご覧ください。

淀川管内河川レンジャー 検索 <https://www.river-ranger.jp>

発行責任者: 淀川管内河川レンジャー事務局

〒573-0056 大阪府枚方市桜町3-32
TEL:072-861-6801(平日9時~17時)
※本誌掲載記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。

次号は7月発行予定です!



River



皆さんが安心して河川を利用できるように日々行われているのが「維持管理」です。河川レンジャーでは河川の利用を課題の一つとして取り組んでいます。この度、皆さんに河川利用に関して、アンケートを実施しました。あわせて「維持管理」と「河川利用」との関係性もご紹介します。

Q.1

普段、川でしていることはありますか。またこれから川でしたいことがありますか？ (複数回答)



景観や空間を楽しむ、ウォーキングやサイクリングなどが50%、普段の生活の中で利用されている方が多いのかなあ

環境保全(27%)や川をきれいにすること(33%)がしたいことに挙げられているのもうれしいですね。

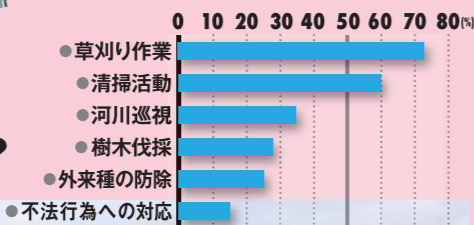
■ 川でしていること
■ 川でしたいこと

これから楽しみたいと思われるのが、BBQやデイキャンプ、川で泳いだり、カヌー、釣り。現在レンジャーが行っている自然観察(野鳥・昆虫や魚とり)やクラフトなども30%以上の要望があるね。よりアクティブな川の利用を望まれていますね。

淀川・宇治川・木津川・桂川...それぞれの地域の流れる川をみんなで利用して大切にできたらいいですね。

Q.2

皆さんが見たことがある維持管理活動は？ (複数回答)



河川で活動ができるのもこんな維持管理がされているからなんだね

堤防などの施設の機能維持や、堤防上の草刈り、河川区域の適正利用などを河川管理者が状態把握して対応しています。



河川利用と安全を支える草刈り作業



川の安全を見守る河川巡視(陸上)

Q.3

川をより楽しめたり、親しみやすくなるようなアイデアや思いを教えてください

- 四季を通じてのイベント開催(地域住民からの提案募集含めて)
- ゲーム的にゴミ拾い大会
- プールにはないだいたいごみがあるのでかきみを作って川遊びやおよげたらいいなあ
- 初心者でも参加しやすく、継続出来そうな野外活動がもっとたくさんあれば、選択肢が広がって、興味が広がると思います。
- みんなが集えるような、パークがあったらいいなあ~と思います。他にも川へ降りる道をつくってほしい、などのご要望も多くいただきました。

河川レンジャーでは、川に親しむ自然観察会の実施やバッタのオリンピック(バッタ採集と競技)、貴重種の保護、歴史探訪など様々な活動を各所で行っています。



堤防の中にポツンと一軒家？

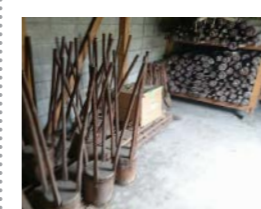
淀川の堤防を歩いていますと、むむ？あれれ？と思うような場所に、ポツンと建っている一軒家のような建物を、皆さんは見たこと無いですか？

なんでこんなところに？誰が住んでるの？なんのために建物？どうして堤防のつぺん(天端)ではなくて、堤防の斜面(法面)途中に建ってるの？と疑問に思われる方も多いのではないのでしょうか。

この建物は『水防倉庫』と呼ばれるもので、淀川の洪水、津波、高潮などの水災を防御し、被害を軽減するための用具などが備えられた倉庫です。このような水防倉庫は淀川の水防拠点となる場所に建てられており、淀川左岸水防団、淀川右岸水防団それぞれの地域を管轄する各分団によって管理されています。淀川本川では、左岸では上流の

枚方市樟葉から下流の此花区西島までの30.6kmの間に37棟があります。右岸では上流の島本町から下流の西淀川区福・西島までの32.4kmまでの間に37棟が建っています。(令和4年1月現在)

この水防倉庫の中には、それぞれの拠点で使用が考えられる水防用具が備えられています。スコップ、つるはし、げんのう、ハンマー、たこ槌、み、一輪車



水防用具を収納

などの工具類や、土嚢袋、縄、杭、板、ばんせん(結束用針金)、シート、マットなどの消耗品が保管されています。管轄の水防団によって、

定期的なその用具や、倉庫の建物自体の点検が行われ、水害への対処に備えています。

また、堤防の天端から一段下がった裏小段と呼ばれる場所に建つ水防倉庫は、昔の淀川の堤防の高さや姿を思い起こさせる場所とも言えます。淀川の各所にポツンと一軒家のように建つ水防倉庫。その不思議な姿を見つけた時は、その重要な役割とともに、淀川の計画高水位*の変遷や、治水、歴史にも思いを馳せてみてください。

*計画高水位とは計画高水流量が河川改修後の河道断面(計画断面)を流下するときの水位のことをいいます。



建築当時の堤防高がわかる、水防倉庫

福島出張所管内
河川レンジャー
アドバイザー
亀井伸幸



8名の河川レンジャーが誕生し、令和4年度より活動をスタートします。

どんな活動を展開していくか、ご期待ください。

福島出張所管内
河川レンジャー
牧野 高輝



淀川流域にある都会の中の自然ゾーンをもっと知ってもらえ、河川レンジャーとして「川と自然の教室」を考えよう地域、防災、環境保全などを楽しく参加出来る様に工夫した企画を立案して実行していきたいです。

毛馬出張所管内
河川レンジャー
松田 正浩



川で遊んだ記憶がない私が、淀川の魅力に触れ、淀川が暮らしに与えてきた役割を知り、淀川存在に感動しました。この感動をもとに河川流域に生活するみなさんと、そして行政をつなぐ河川レンジャーの任務に取り組んでいきます！

高槻出張所管内
河川レンジャー
竹本 克己



わがまちの地域を流れる淀川の歴史や特性、淀川をとりまく自然環境などをひろく知り、過去の経験などを活かしながら、川と人とのかわりや水害などの防災意識を高める啓発活動を展開したいと思います。

高槻出張所管内
河川レンジャー
林 浩平



ご近所の淀川さんのこと知りたくありません？(笑)。流域の市民と繋がり、淀川のことを共に学び、未来に繋がる河川活動を楽しくやって行きたいです。河川レンジャーの認知度UP=淀川流域への関心度UPを目指します。

桂川出張所管内
河川レンジャー
寺田 慎一



1年間毎月川べりを歩く機会を得て四季折々の川の魅力や川が抱える様々な問題に気づかれ、河川レンジャーに応募しました。少しでも多くの人に川を訪ねてもらい共に色々考える、そんな活動を目指そうと考えています。

伏見出張所管内
河川レンジャー
中野 清



淀川堤防を自転車通勤し、自然に癒され、脅威を感じ、また、増水時に流れ着く大量のごみで心が痛みました。レンジャー活動を通して、多くの人といっしょに人の命を守り、自然を楽しめる場を広めたいと思います。

木津川出張所管内
河川レンジャー
川口 恭子



災害に強い地域づくりや人づくりの一助となるよう、「いつでも、防災」を合言葉に、地域で防災の活動を行っていきます。地域住民のみなさんの川や防災への関心を高めることができればと思います。

木津川出張所管内
河川レンジャー
長浜 卓摩



私は川遊びやカヌーでの川下りが大好きです！多くの人々に川のよさやさらしさを体感してもらい、川を身近に感じてもらえるよう、自然体験を中心としたレンジャー活動に取り組めます。ぜひ一緒に川を体感しましょう！

